

市町村名 (市町村コード)	氷見市 (162051)	
地域名 (地域内農業集落名)	窪地区 (窪集落、園集落、湖光集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年1月20日 (第3回)	

担い手への農地集積率は少しずつ進んでいるが、後継者等が未定の個人農家が多いことが課題である。畑地については、手続き面での課題も多く、中心経営体への農地集積が進んでいない。また、宅地化が進んでおり、集積化も厳しくなっている。

地区内の農地利用は、中心経営体である法人の認定農業者（2経営体）、個人の認定農業者（3名）、その他の個人農家（2名）が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。また、個人農家のリタイア時の農地を、現在の中心経営体が利用権設定や農地中間管理機構を活用して引き受けていく。

区域内の農用地等面積	83ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	79ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

農業振興地域農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域

(1) 農用地の集積・集団化の方針
中心経営体と地区の連携により集約化を促進する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
中間管理機構による農地の集積・集約を促進する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
西条畑地かんがいの老朽化により、基盤整備を必要とする農地がある。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
担い手の経営体制が維持できるよう地域内での後継者の育成に取り組む。新規就農者の経営面積拡大を促進し安定した経営を確保する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地区内の作業の効率化・省力化を進めるためにドローンなどによる防除作業をはじめ農作業委託の活用を図っていく。

	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	○	⑦保全・管理等		⑧農業用施設		⑨耕畜連携	○	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

地域内の若い世代も参加する体制を検討し、多面的機能支払交付金を活用し、農地の保全や農道、用水路等の保全を維持していく。

耕作者が連携し、耕作地している農地の管理を行う組織づくりを検討する。